



昭和村

議会だより

第 171 号 令和 4 年11月16日発行



受賞された皆さん、おめでとうございます。(令和 4 年度自治功労表彰式より)

発行／昭和村議会
編集／議会だより編集委員会

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

☎0241-57-2198 FAX0241-57-3044

目 次

- 令和 3 年度決算認定 2 ～ 3
- 議案審議の内容 4 ～ 6
- 村政を問う 7 ～ 11
- 議会活動の報告・お知らせ ... 12

令和3年度の決算認定

今定例会では、令和3年度の一般会計をはじめとする全ての会計の決算内容と、事業の成果が提出され、審議の結果、全員賛成で認定されました。（決算の内容は「広報しょうわ10月号」に掲載されていますのでご覧ください。）

村の財政状況を示す「健全化判断比率」も報告されましたが、村は健全財政を継続していることが確認できました。

しかし、村は収入の多くを国からの地方交付税に依存していますが、その額は不透明さが大きく、今後財政状況はますます厳しくなっていくことが想定されます。さらに村税の滞納額が年々増加していることから、早急な対応の検討に取り組むことを求めました。

昭 和 村 の 財 政 状 況	区 分	財政指数	簡 単 な 解 説
	財 政 力 指 数	0.10	地方交付税への依存の程度を示します。 「1」に近いほど財政力が強いということです。昭和村は村税の収入が非常に少なく、 <u>財政力はとても弱い</u> といえます。
	経 常 収 支 比 率	88.6	独自の施策や新たな施策に対応する余力があるかどうかという財政の弾力性を示します。 75%程度が妥当といわれてきましたが、地方財政を取り巻く状況が変化中、どの自治体も高止まりしています。昭和村も <u>80%を超え引き続き高い水準にはある</u> といえます。
	実 質 赤 字 比 率	—	一般会計の赤字額の割合を示します。黒字決算であるため該当しません。
	連結実質赤字比率	—	一般会計と簡易水道や下水道などの特別会計全部を合算した場合の赤字額の割合を示します。 全部の会計が黒字のため該当しません。
	実 質 公 債 費 比 率	6.0	収入金をどれだけ地方債（借金）の返済に充てたのかを示します。 18%以上は警戒値。35%以上は破綻。昭和村は <u>現段階では良好な状態</u> であるといえます。
	将 来 負 担 比 率	—	地方債（借金）の返済など将来負担しなければならない金額の割合を示すものです。現時点では <u>借金より基金（貯金）の額が多い</u> ため、指数は算定されませんでした。

決算認定

令和3年度 決算議案質疑の 主な内容

市で人口割等をもつて負担額が決定する。

問 新規狩猟者育成補助金、何名分なのか。

問 放射能簡易分析装置構成費とあるが、内容は（併せて設置場所も）。

答 わな免許1名、銃猟免許1名、合計2名分である。

答 役場2階に設置、

決まった年数で検査を行い、正確な放射能の数値を検出しなければならぬ。

問 からむし振興基金、令和2年度決算

審査意見書の指摘で債権の保全、早期返済に向けて返済計画策定など、適正な対応を指摘されていたが、返済計画書は提出されているのか。

問 坂下厚生総合病院の緊急医療体制支援負担金、主な事業内容は。

答 坂下厚生総合病院

の救急医療、小児医療を支援するもので坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、喜多方

答 令和3年9月22日

付で、振興公社より昭和村振興基金貸付金の償還計画についてという事で提出をいただいている。

問 固定資産税の未納

に対する不納欠損処理、村民に説明をするという約束を行政は一度もまだ村民にしていない。約束はまだ生きているという確認で、いつやるのか。

答 清算終了に向けて

どのように今後進んでいくのかということの経過を観察していきながら、しかるべき時期になって、滞納処分の停止等を検討していきたいというところに、今のところ変わりはない。経過を見定めた上で不納欠損をするかどうか、そういった時期については慎重に検討をしていきたい。

問 担い手支援対策事業補助金、何名くらい今回該当者があつたか。

答 認定農業者、個人

の分で5件、さらに団体枠で1件の合計6件の活用があつた。

問 からむし織の里指定管理料、経営赤字

の実質補填は、今回は増えている。このような状況をどのように受け止めるのか。

答 非常に公益性の高い事業を行っている

ところであり、その健全経営を支える意味でも指定管理をしっかりしていきたい。

問 奥会津昭和の森施設使用料、前年対比

で約51万円くらい少なくなっているが、この原因を、どのように捉えているのか。

答 新型コロナの感染

拡大のため、何度が休業をしたということで収入が減ったところである。



議案の審議

議案の議決結果

9月定例会で審議した議案と、その議決結果です。（審議した順に掲載。）

議 案 名	議決 結果	栗城 徳雄	青木 秀元	渡部 節雄	東原 源伯	馬場 栄三	栗城 敏郎	菅家 敏章	馬場 政之
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和4年度昭和村一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和4年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和4年度昭和村介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和3年度昭和村歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	欠	議長
昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任について（五十嵐勝氏を再度任命するもの）	同意	○	○	○	○	○	○	欠	議長
昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任について（栗城耕作氏を再度任命するもの）	同意	○	○	○	○	○	○	欠	議長
教育委員会委員の任命について（五十嵐吉弘氏）	同意	無記名投票の結果 賛成6票 反対0票							議長
健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下中津川新田地区村道139号下中津川富田線農道舗装改良整備についての要望書（要望者：下中津川区長、新田地区部長）	採択	○	○	○	○	○	○	欠	議長
小野川宮原地区の消雪に関する要望書（要望者：小野川前後期区長、前後期世話役）	採択	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和4年度昭和村一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長採決以外は「議長」と表記。

議案の審議

第5回議会臨時会議案の議決結果

10月19日に臨時議会が開かれました。審議した議案と、その議決結果です。

議案名	議決結果	栗城徳雄	青木秀元	渡部節雄	束原源伯	馬場栄三	栗城敏郎	菅家敏章	馬場政之
令和4年度昭和村一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長採決以外は「議長」と表記。

主な内容

- 国において、電気・ガス・灯油・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対して、一世帯あたり5万円の給付を行うこと
15,945,000円
- 新型コロナウイルスオミクロン株対応のワクチン接種に係る経費
5,891,000円
- 村民を対象として実施の無料PCR検査費用追加
3,465,000円
- 電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の活用による村民生活の消費の下支え支援として村民一人あたり1万円の地域振興券発行
13,570,000円

監査委員報告

10月12日～14日の3日間、令和4年度の定期監査を行いました。

写真は公共インフラWi-Fi整備工事現場で担当課職員より説明を受けているところです。

※定期監査とは？

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、毎会計年度1回以上期日を定めて監査を行うこと。



ご存知ですか？



「議会だより」に掲載されている内容は、議会の一部です。本会議での議員の質問や質疑、村長等の答弁の全内容を掲載した「昭和村議会会議録」が議会事務局でご覧になれます。なお、注意していただく点などもございますので、議会事務局（電話57-2198）へお問い合わせください。

決算認定討論

令和3年度決算 認定討論の要旨

賛成討論

第6次昭和村振興計画は、「いこちよく」「てえらな心」で持続可能な村づくりを進めるとされております。

新型コロナウイルス感染症がまだ終息を迎えない中、高齢者安否確認事業は大切な事業であり、コロナ収束後も高齢者を見守るため、最も重要な事業であると考えます。少子化のため、複式学級となっている小・中学校の子供たちに万全な教育環境を整えるための支援講師及び特別支援員の配置は、学力向上に役立つものと考えます。

本村特有の豪雪対策においては、除雪支援事業は適切であり、なお一層の拡充をお願いする。

農林水産物集出荷貯

賛成討論

蔵施設の改修・修繕事業は、産地維持、また交流人口の拡大につながる必要な事業と考える。そして、鳥獣被害対策事業の捕獲と電気柵設置は、本年に見られるように大幅な被害軽減につながっている。担当課職員の努力に感謝したい。そのほか、橋の橋梁補修工事、村道改良、上下水道の維持管理事業は、年次計画に沿ってインフラ維持に当たる適切な事業であると判断する。職員一同、各課横断的に知恵を絞り、有利な国・県の補助事業や過疎債を使い、村民が必要であると求める事業を選択していることに敬意を表したい。

最後に、自主財源増大のため、ふるさと納税制度に最大限の力を発揮することを期待し、決算認定に賛成いたします。

令和3年度歳入歳出 決算認定について賛成

の立場で申し上げます。少子高齢・過疎化にある本村において、地方税収が増加するとは考えにくく、またコロナ禍において財政状況を取り巻く環境も厳しく、地方税収が大幅減収となっている。

歳入ではデジタル推進費の創設により、地方交付税が前年度比で10・1%増額交付となり、雪室の改修工事に伴い県補助金も増額となっている。

歳出では、義務的経費が前年度比で8・3%増となっており、要因としては、子育て世帯臨時給付事業などが挙げられ、雪室の改修工事や雪寒機械の購入、坂下厚生総合病院の新築移転事業などにより投資的経費が9・5%増額となっている。

る。主な事業として、コロナ感染症による大きな影響を受けている住民生活や地域経済を支援し、地域振興に資することを目的とし、からむし織の里地域振興券発行事業を行い、全村民に一律3万円の地方振興券を配布し、商工会の加盟店に限定せず、灯油やガソリンなど、幅広い利用ができるよう実施しております、施策の効果が認められる。暮らしを豊かにするための手段としてデジタル技術を活用生活の中に浸透させ、様々な分野に活用するため、公共Wi-Fi整備事業に着手し、公式ホームページを活用したDX事業など、様々な課題解決に向けたデジタル技術の活用を進めている。

平成28年度に策定した昭和村公共施設等総合管理計画の見直しを行い、簡易水道事業、

公共下水道事業、農業集落排水事業、合併浄化槽事業の各特別会計においては、将来にわたって持続可能な経営を確保し、経営基盤の強化が必要であるため、令和5年度の地方公営企業会計への移行に向け、必要な準備を進めている。

以上、事業の一端を申し上げますが、コロナ禍の状況の中で職員が一体となり、創意工夫し重点的に取り組むべき課題に対応するため、各課横断的に連携し、国・県などからの情報収集に努め、補助事業など最大限に活用を図った予算執行がなされ、効果的な運用がなされていると判断し、令和3年度歳入歳出決算に賛成いたします。

村政を問う

一般質問



馬場 栄三 議員

Q 農業用肥料、資材高騰における行政の対応について伺う。

問 農水省は化学肥料2割低減取組農業者を対象に、肥料コスト上昇分の7割補填すると伺うが、基準は何か、また、具体的な内容を伺う。

村長 支援の対象については、令和4年6月から令和5年5月まで購入した肥料とし、支援内容は、化学肥料低減の取組を行った上で、前年度から増加した肥料費について、その7割を支援金として交付することとしている。

問 支援金の交付の時期はいつになるのか、また、水稻の苗箱まかせが、今後、価格の上昇が予想されるが、村長としてどのように受け止めているのか伺う。

村長 補填金の交付については、秋肥については年内の支払いも可能とされており、今年の秋肥と来年の春肥を一本化して補填する方式が措置されとの情報があり、補填金の受け取りは来年春になるものと思われる。

なお、繰り返しになるが、現時点において国や県からは詳細な説明がないので、情報の収集に努めていく。

水稻の作付に用いる苗箱まかせなどが値上げされた場合の村としての考え方や対応については、現在も肥料や資材等のコスト上昇分を農産物価格に転嫁できず、収支のバランスが崩れるなど、農家の皆様にとって大変厳しい状況であることは承知しているもので、令和4年産米の価格の動向をはじめ、国や県、農業団体等の農業施策に対する支援などの情報収集に努めながら、村としての対応を検討したいと考えている。



Q 共同防除について伺う。

問 1回目のカメムシ、いもち防除が7月25日、26日に実施され、2回目、カメムシ防除が8月6日、7日に実施された。その経緯について、どういうことからその日程になったのか伺う。

村長 金山普及所の普及員並びにJ A会津よつば営農経済センターへ防除日程案の選定を依頼し、作柄や今後の気象予報、また、病害虫の発生予測情報等を基に、本村全体の生育状況を勘案し、1回目のいもち病とカメムシ防除を7月25日と26日に、2回目のカメムシ防除を8月6日と7日に選定していただいた。防除日程案の選定結果を受け、各関係機関で構成する病害虫防除

団事務局会議を7月12日に開催し、本年度の防除日程を決定したところである。

問 8月6日、7日のカメムシ防除は適期防除とは言えないと考える、見解を伺う。

村長 田植時期や作付をする品種、使用している肥料や農薬に違いがあること、天候の変化が頻発し、村内の各集落ごとでも気象条件に違いが見られるなど、村内全ての圃場を勘案した場合には、生育状況の違いから出穂期や穂揃期に差が生じ、実施日が防除の適期とはならない圃場も一部において生じている。そのため、防除実施日が適期にならない場合においても、使用する農薬の残効性を考慮しながら、薬剤が途切れることのないよう、防除実施日を決定しているところである。

村政を問う

一般質問



青木 秀元 議員

Q 「日本で最も美しい村」を守る景観条例を制定すべき

問 日立造船株式会社
の風力発電計画について白紙撤回を要求したが、反対する明確な根拠は何であったのか伺う。

村長 事業実施想定区域内には、村民が使用する上水道や山水道の水源地があるほか、保安林、砂防施設などが含まれ、森林が大規模に伐採されることによる土砂災害等、防災面での影響も懸念された。

再生可能エネルギーの活用を否定するものではないが、村民の命と健康、そして、美しい村を守るべく、事業の白紙撤回を求めた。

問 本村の豊かな自然を次の世代に継ぐためにも、村独自の景観条例を制定すべきと考えるが、見解を伺う。

村長 本村の美しい自然、環境などを後世まで守り抜いていくため

には何ができるのか、日本で最も美しい村連合に加盟する自治体の取組を参考にしながら、研究を進めてまいりたい。

Q ふるさと納税制度と産業復興について。

問 納税者はどのような人々なのか。そして、その返礼品の詳細な内容について伺う。

総務課長 制度開始からこれまでに寄附をしていただいた方々は、大きく分類すると、ご自分やご両親などが昭和村の出身である方、村の施策を応援したい方、本村の返礼品が欲しいという理由の方の3種類に分けられる。次に、本村の返礼品だが、お米や矢ノ原高

原手打ちそば、山菜加工品、食べるからむし、からむし織製品など、農林水産物や加工品を返礼品に採用している。返礼品のうちで一番の人気となっているものは矢ノ原高原育ち100%手打ちそばセットであり、次いで、昭和村のお米とからむし製品セットや昭和村のお米とご飯のお供セットといったものになっている。

問 納税額の増加は、いろいろな事業で使える。また、返礼品の増加は、その生産者の所得増に直結する。100万円台から1千万円台を目指すため、商才にたけた専門職員を配置すべきと考えるが、見解を伺う。

村長 ふるさと納税は、自治体にとって重要な自主財源であることから、本村を含む各自治体では、総務省通知の基準の下、工夫をして寄附額の増加に努めているところである。その工夫の一つに、議員お質しのように、専門職員を配置している自治体もある。ふるさと納税の新たな形として、旅先納税を取り入れていく自治体やふるさと納税自動販売機を取り入れている自治体などのほか、本村も、包括連携協定を取り交わしている株式会社モンベルとの提携を行っている自治体もあり、情報を収集し、本村で行う場合の費用対効果等を検証するため、調査をしたいと考えている。

村政を問う

一般質問



渡部 節雄 議員

Q 村おこし策について

問 従来から様々な村おこしの施策を打ち出してきていると理解しております。最近、行政が企画している新規の村おこし策はありますか。

村長 カスミソウの新規就農者受入れや6次産業化の支援による地域特産物の開発、本村ならではの観光資源を活用した大小様々なイベント等の取組を行っているところであり、移住定住人口や関係人口の増加、地域住民が主体

となった地域の活性化など、少しずつではあるが、着実に成果を上げていると考えている。

問 俯瞰的に見ることに慣れている行政として、従来の振興策の手直し、あとは充実策、いわゆる見直しと充実を図っていく具体的な例は、また、具体的な考えはございますか。

村長 振興計画は、前期、後期それぞれ5年間の基本計画を策定して、さらに1年ごとに

検証とその見直しを行う実施計画を作成し、事業を推進している。

問 耕作放棄地の拡大を防ぐために発足された営農生産組合、今現在8つありますが、これの実態、そして、課題克服についてはどうお考えですか。

村長 少子高齢化による構成員の離脱や担い手の不足、農産物価格の低迷や原油・肥料資材等の価格高騰など、営農を継続するためには大変厳しい状況であると認識をしている。人員が不足し、人力で行う除草作業に大変苦慮しているとも伺っている。耕作放棄地を生かさせない取組を今後とも継続していただけるよう、財政面での支援及び機械化やICTによる作業の省力化について検討を行っている。

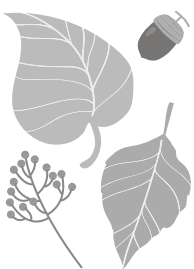
Q 心地良い暮らしを目指しているかどうかではないか

問 国民健康保険税の値上げ、いわゆる均一性から救うために何らかの方法、私が考えているのは村民への支援策、補助制度、これをやってもらうわけにはいかないですか。

村長 国保税については、急激な増額を抑えるために、基金から繰出しをして、その緩やかな額に抑えていくというのをさせていた。だきたいと思っている。なお、村民全てが国保に入っているわけでもないの、その辺は公平性の立場も考えながら、全体的に村としては考えていかなければならないというふうには思っている。

問 今、ごみ収集車は老朽化しているんですか。

保健福祉課長 新車購入から10年目を迎え、35万キロを超える距離を重ねていることから、経年劣化等による原因が見られる故障が出ている。ごみ収集車両については、第6次昭和村振興計画において、令和5年度に更新する計画としているが、新型コロナウイルスの影響や国内自動車会社の不祥事などが重なり、生産体制に影響を及ぼしているとの情報もあり、今後の状況を注視しながら、更新作業を進めて参りたい。



村政を問う

一般質問



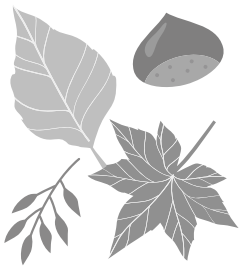
栗城 徳雄 議員

Q 村独自の新型コロナウイルス感染症対策について

問 感染者が増加し死者数が3百人を超える日もある等から高齢者が多い昭和村には独自の対策が必要と考える。他の自治体とは違う独自の対策で、村民が安心できるために、村長が行う対策を伺う。

村長 国保診療所に発熱外来を設置するとともに無料でPCR検査を受けられる体制を整えたり、24時間対応の相談窓口を設けるなど、村民の命を守るための対策をいち早く講じてきた。また、感染

者や濃厚接触者の健康観察などは県保健所が担っているが、感染された方から直接、村が相談を受けた際は健康状態を確認したり、療養中の過ごし方や緊急の連絡先などを伝えるとともに不足する物資の購入を代行するなど、きめ細かに対応してきた。



Q 人口が減り、空き家が増加し、集落の維持継続が難しい状況になっている。集落を維持し活性化に繋げるには積極的に空き家を活用すべきと考える。

問 入村される方への指導について、集落によって守っていただきたいこと等が若干違うと思うので、集落の意向など具体的な内容を書いたものを、入村者に渡してはいいかと思う。これが常識的な内容であれば、入村者に十分理解していただけると思う。この提案に対する村長の考えと「普請などへの参加は義務」として入村される方へ指導すべきではないかということに関し、村長の考えを伺う。

村長 村としては、入村される方々が自主的かつ積極的に普請や行事等へ参加していただくことが、地域住民や集落とのより良い関係性を築くためにも重要

であると考えていることから、説明や指導を繰り返し行っているところである。それらの自主性を持った行動が、地域住民の方々と集落からの信頼や信用を得ることにつながり、その結果として、移住者が集落に溶け込みやすい環境がつくられるとともに、地域住民や集落とのより良い関係性が築かれるものと考えている。

問 空き家対策に本気で取り組むのであれば、空き家コンシェルジュの活動は非常に重要なものになる。その重要な空き家コンシェルジュの報酬が、活動に基づき最大10万円を支給するとしているが、積

極的な活動を望むのであれば少ないと思うが、村長いかがか。

村長 積算の根拠については、全国の先進地事例を参考に定めたところである。

活動費の増額についての質しであるが、空き家コンシェルジュ事業については、本年度が初めての取組となり、試験的な事業として位置づけていることから、年度途中での増額は考えていない。空き家コンシェルジュ事業については、次年度も継続させたいと考えているので、今年度における課題の把握や事業の進め方など事業の検証を行いながら、内容の見直しや活動費の増額等について、検討していきたい。

村政を問う

一般質問



栗城 敏郎 議員

Q 特殊外来受診機関への支援について

図 平成26年度から国保診療所の専門外である整形外科と眼科を村外医療機関へ依頼し、その交通支援を行って

村長 村外医療機関、特に村診療所診療科目以外の受診に係る交通支援は、高齢者等の交通手段確保が困難な方にとって重要な対策で

あると認識している。現在の医療機関との協力関係は今後も維持する考えているが、村民が望む診療科目や医療機関のニーズは様々であり、新たな医療機関への交通手段確保については、今後の公共交通対策と併せて検討を重ねて参ります。

Q 介護保険による福祉用具の貸与について

図 介護保険レンタルという形で電動カートをレンタルできるが、適応条件、レンタル制度については、今までどのような形で周知を図っていたのか伺う。

Q 奥会津在宅医療センターとの連携について

保健福祉課長 電動カートについては、シニアカーなどとも称されているが、介護保険制度では、電動車椅子と定義されている。介護保険適用による電動車椅子は、利用者の介護度や疾病等の状況により、利用をいただいております。電動車椅子の利用に当たっては、介護サービス利用の相談を受けた際に、ケアマネジャーのほうから利用者の状態や利用内容を確認した上で、個別に提案をしているところです。

Q 博士峠バイパスの安全・安心な交通の確保について

村長 奥会津在宅医療センターでは、住民の健康増進のための各種事業の主催、支援、保健福祉事業への協力・支援も行っており、本村での新型コロナウイルスワクチン集団接種の際には、医師や看護師の協力をいただいたところである。村国保診療所でも訪問診療を行っているが、退院後のリハビリに関しては訪問看護も有効であり、今後、事例があれば診療所医師と相談しながら、センターの訪問看護の活用を検討して参ります。

図 奥会津在宅医療センターが開設され3年目となり、この間、県とは様々な連携について協議がなされたと思うが、今後どのような位置づけで連携し展開を図る考えなのか伺う。

解消は不可欠と考える。どのような対応を考えているのか。

村長 国道401号博士峠工区の携帯不感対策について、会津若松建設事務所に問合せしたところ、博士トンネルの約4・5キロについては、公益社団法人移動通信基盤整備協会が対策工事を実施し、開通後は携帯電話の使用が可能になる。また、博士トンネル以外の区間については、各通信事業者が対応することになっているが、現在では対応不可の回答となっている。会津若松建設事務所としては、今後不通話区間解消のための要望を行うこととしたいとの回答をいただいているところである。

議会活動を報告します



◎町村議会議員研修会 参加議員 7名

◎郡山市ビックパレットふくしまにおいて研修会実施

議会活動報告

◎9月議会要望箇所等現地調査

◎調査議員 7名

◎調査地 下中津川地区
小野川地区

◎調査目的

議会に要望があった下中津川地区農道舗装整備及び小野川地区道路消雪について議会開会中に現地調査を行い各区長より要望についての説明を受けた。



表紙の写真について

11月3日に公民館で行われた、自治功労表彰及び善行表彰を受賞された皆さんです。これからの益々のご活躍をご期待いたします。

● 令和4年第4回定例会のお知らせ ●

令和4年第4回定例会は、12月9日から13日までの日程で予定されています。一般質問は12日の予定です。

ぜひ、傍聴においでください。

傍聴の際はマスクの着用をお願いいたします。

編集後記

今年も慌ただしさを
感じさせる歳末が近づ
いてまいりました。

外にロシア・ウクラ
イナ戦争、内に統一教
会問題と様々な事があ
りました。1年の経
過のなんと早いことか。

年を経るごとに、そ
のスピードに驚かされ
るのは、刺激を受け止
める感受性が鈍くなっ
てきているのではない
かと心配です。

なにはともあれ、師
走という1年の節目を
間近にし、新年を迎え
る準備を、今からして
いかねばと思う今日こ
の頃です。

(渡部節雄)

編集委員

委員長 東原 源伯
副委員長 渡部 節雄
委員 菅家 敏章
馬場 政之